

松本市オンライン教育支援センターについて

オンラインを利用して、つながりのある人や場所を増やすことを主な目的としています。

学習支援が主な目的ではありません。利用する小中学生の皆さんの希望をできるだけ取り入れて、安心して楽しむことができる居場所を目指しています。

主な活動内容

- ・ オンライン（ Zoom や Meet などの Web会議アプリ や仮想空間（メタバース））で、小中学生の利用者が自分が使いたいサイトに行って学習したり遊んだり、相談したりする。
- ・ 他の小中学生の利用者やスタッフ、大学生や高校生と交流する。

（利用者の皆さんの希望をできるだけ取り入れて、今後できることを増やしたりやり方を変えたりしていきます。）

1 Classroom内のMeetを使ってスタッフと交流する



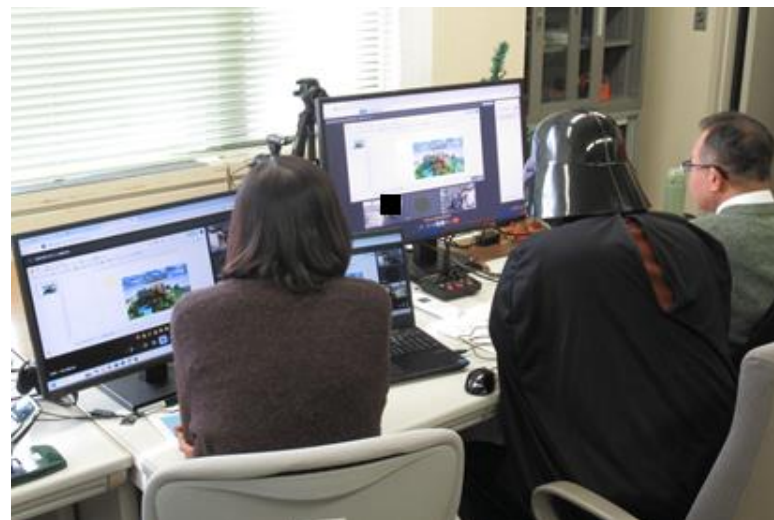
Classroom、仮想空間ともに利用にあたっては専用のアカウントを使用します。

- ・ 学校関係のものは表示されなくなります。
- ・ 本名は表示されず、自分が決めたニックネームが表示されます。

- ・ センターでの機材設定、体験、通信テスト（1時間15分程度）を行った後、1～2回、家庭とセンター間でMeetを使ってやり取りをします（10分くらい）。

その際、話題として好きなものや興味があることを紹介してもらっています。

- ・ 可能であればスライドを作成してもらい、空間内に掲示しています。
- ・ その後は希望があれば日時を設定して交流します。

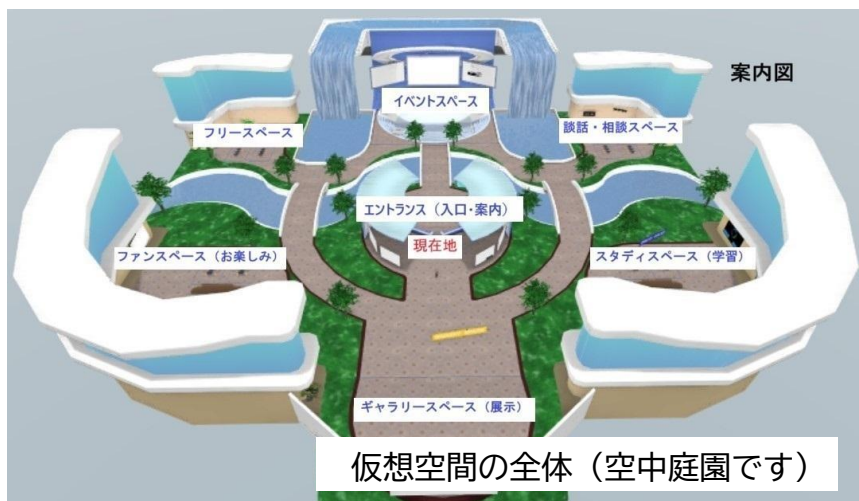
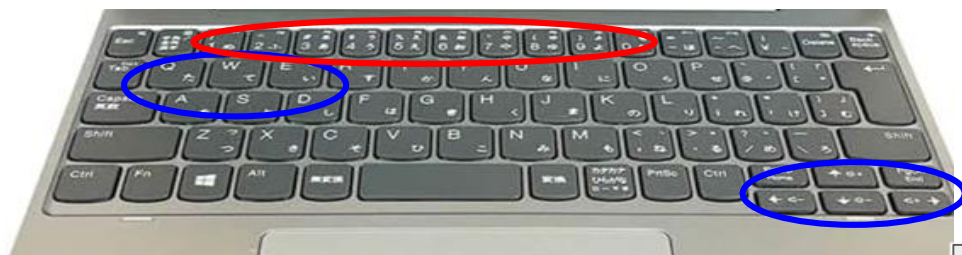


2 仮想空間内のリンクを使って、自分が使いたいサイトで学習や遊びや相談などをする

- ・ この仮想空間には利用者やスタッフ等の関係者以外は入ってこないで、24時間利用可能にしています。センターでの機材設定、体験、通信テスト（1時間15分程度）の後、自分の都合のよい時に利用することができます。
- ・ スタッフが仮想空間にいるのは平日の10:00から12:00です。また、教育委員会が貸し出している一人一台端末には、21:00から6:00までインターネットにつながらないように制限がかけられています。
- ・ 仮想空間内では、ニックネームが表示されたアバターで活動します。アバターは自分で作り変えることができます。

<アバターの動かし方>

- ・ W（または↑）で前進、S（または↓）で後退、A（または←）で左回転、D（または→）で右回転、Qで左横歩き、Eで右横歩き（※ そのキーと Shiftキー を同時に押すと速く動くことができます）
- ・ 1から0の各キーを押すと「手を挙げる」など既定の動きをすることができます



※ マウスがある場合、上下ホイールの回転で画面のズームイン や ズームアウト、マウスを右クリックしながら動かすと画面を 上下左右 と 回転 することができます





3 仮想空間を使って他の小中学生の利用者やスタッフ、大学生や高校生と交流する

仮想空間でも声やチャットを使って空間内の他のアバターとやり取りができます。
別空間に移動して、鬼ごっこ・かくれんぼ・ゴーカートをしている人もいます。



<オンラインイベントの開催>



松本工業高校の高校生が仮想空間内での「かくれんぼ大会」を企画し、大会用に専用の仮想空間をクリスマスバージョンで作ってくれました。

信州大学や松本大学の大学生の協力も得て、1回目～3回目は令和6年11月25日(月)と12月20日(金)と令和7年1月17日(金)に行いました。

4回目は2月に予定しています。

<オンラインイベントの開催>

松本大学の大学生2名がMeetと仮想空間内のスクリーンに登場し、20分ほどの目の体操やストレッチを実施してくれました。

令和6年11月7日(水)、11月20日(水)はオンライン教育支援センターから、12月11日(水)は松本大学のキャンパスから配信しました。



イベントスペースのスクリーンを利用した、目の体操やストレッチの紹介の様子



仮想空間（メタバース）上のイベントスペースのスクリーンを利用した自己紹介の様子



信州大学の大学生6名が交代で仮想空間にいます。ボイスやチャットで交流できます。
平日10:00～12:00の間で30分～1時間程度、毎日誰かが仮想空間にいます。

4 その他

センターではMeetでのやり取りと仮想空間に入ってきたアカウント情報をもとに利用した日を記録し、月ごとに利用状況を学校と家庭にお知らせします。

松本市教育委員会では、オンライン教育支援センターの利用について、学校長の判断で出席扱いにできるとしています。